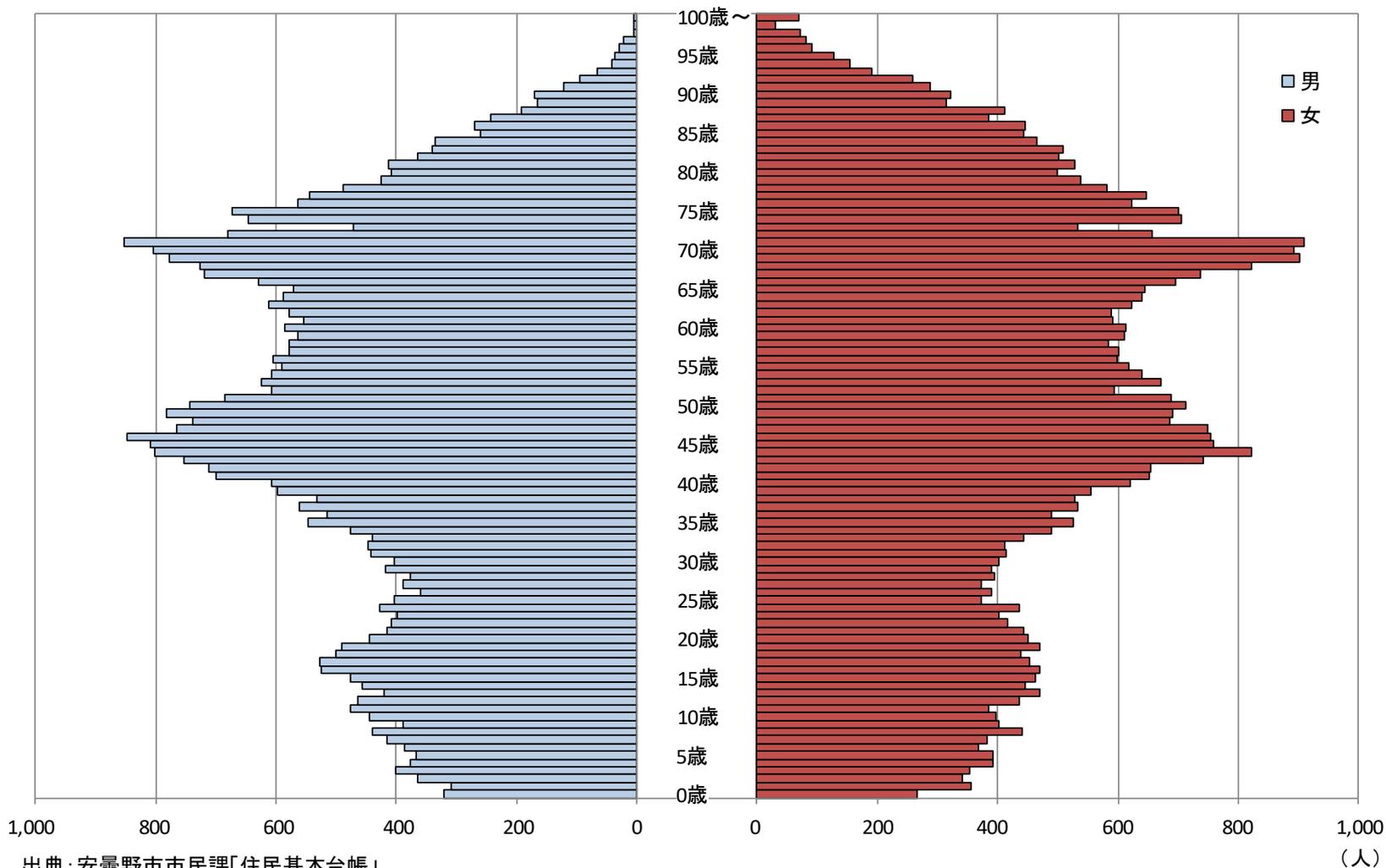


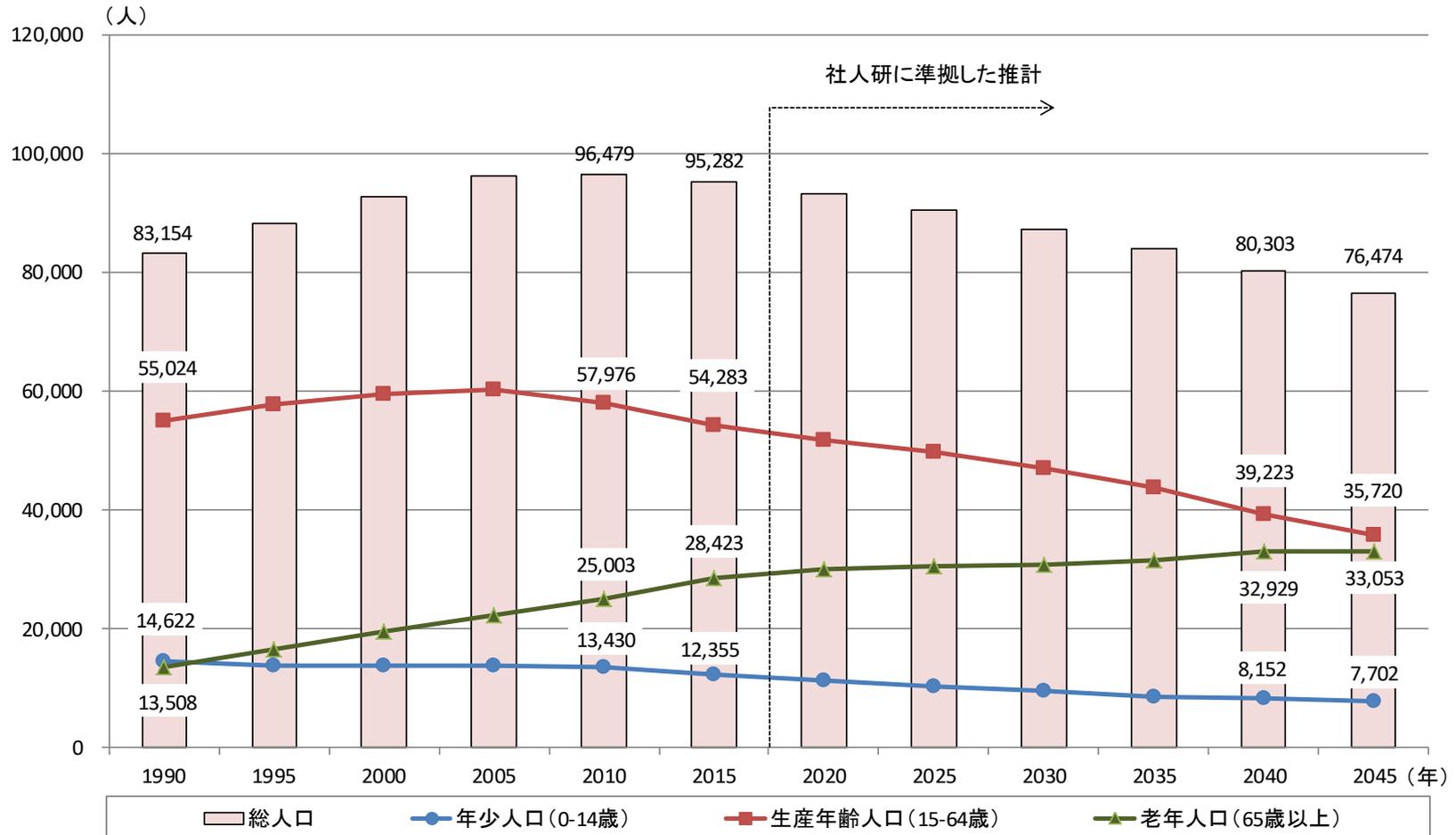
(1) 安曇野市の年齢別人口（H30.4.1現在）【図表 1】

- ・国の人口ピラミッドと相似し、第1次ベビーブーム（概ね70歳前後）と第2次ベビーブーム（概ね50歳前後）の2つのピークがある形状となっています。
- ・20歳代前半で大幅に人口が少なくなっており、高校卒業後に進学・就職等で市外に人口が流出していることがわかります。



(2) 安曇野市の人口の推移 【図表2】

- ・総人口は、2010（H22）年をピークとして減少に転じ、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）の推計によると今後30年間（2015年から2045年）で、総人口は約20%減少し、年少人口、生産人口も、それぞれ約34%、約38%減少する見通しです。
- ・年少人口、生産年齢人口が減少する一方で、老年人口は、2045年まで増加する見通しです。



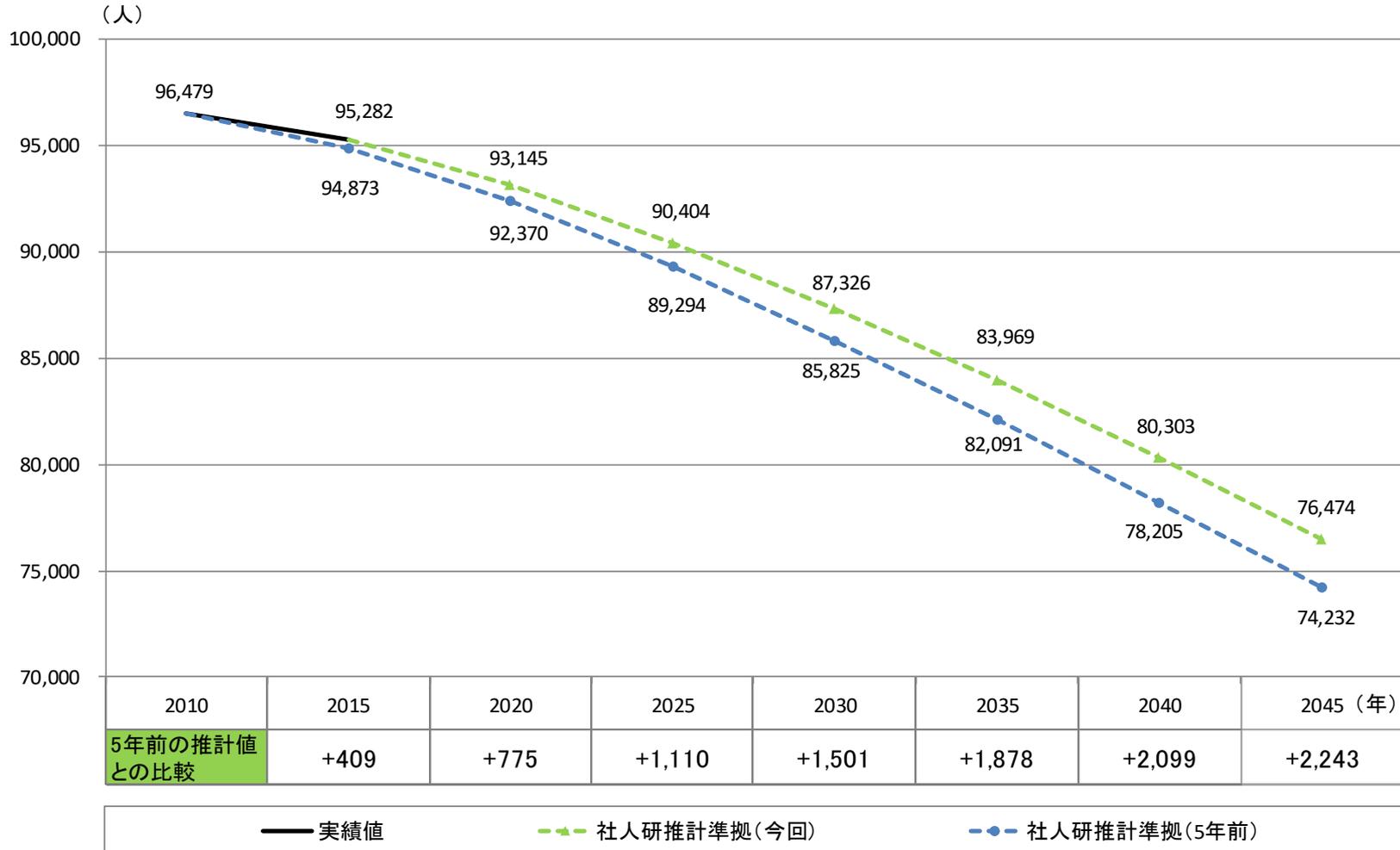
出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」に準拠した国提供のワークシートに示された推計値を使用。

注：総人口には、年齢不詳も含むため、年齢3区分別人口の合計と一致しない。

(3) 安曇野市の人口の推移 (推計の比較)

【図表3】

- ・国勢調査によると2015年人口（実績値）は95,282人であり、約5年前の社人研推計（平成25年3月推計）を409人上回りました。
- ・新たな社人研推計（平成30年推計）に準拠した推計結果をみると、30年後の2045年の人口は、2015年より約19,000人減少するものの、約5年前の社人研推計（平成25年3月推計）と比べ約2,000人上回る見通しです。



出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に準拠した国提供のワークシートに示された推計値を使用。